

第1 平成18年度当初予算の概要

1 予算編成の基本方針および予算規模

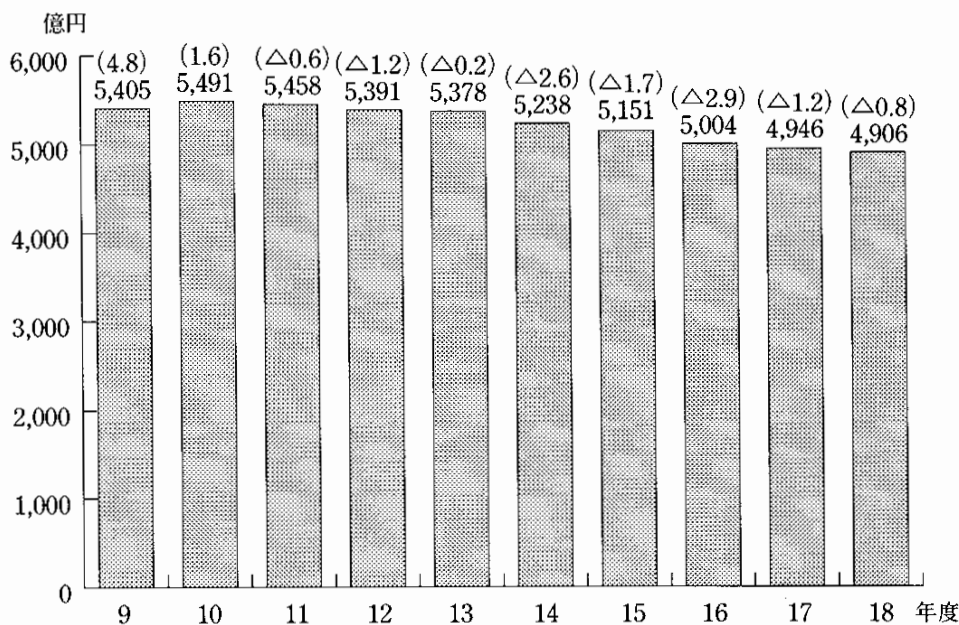
平成18年度当初予算は、歳入面では、景気の持ち直しの動きが見られるものの、県税収入が5年連続で1千億円を下回ることが見込まれ、依然として厳しい財政状況での編成となりましたが、「福井元気宣言」に掲げた「元気な産業」、「元気な社会」、「元気な県土」、「元気な県政」の4つのビジョンと「挑戦（チャレンジ）ふくい」など各種プランの実現に向け、外郭団体の整理統合、事務事業・補助金等の見直し、人件費の抑制等により財源を確保し、子どもの安全・安心の確保や少子化対策、健康長寿など県民生活に直結した分野に重点配分するとともに、県立病院関連施設や子ども家族館（仮称）など、単独事業を充実させたほか、北陸新幹線や高規格道路の高速交通体系整備を積極的に予算化するなど、これまで以上に選択と集中に努めました。

こうして編成した平成18年度当初予算額は

一般会計	4,906億2,762万円
特別会計	195億6,955万円
企業会計	338億6,946万円
計	5,440億6,663万円

となっており、一般会計について前年度当初予算額と比較すると、0.8%の減となっております。

(図表-1) 当初予算(一般会計)の推移



(注) 1 ()は、対前年度伸び率 (%)

2 平成11年度、平成15年度については、当初予算が骨格予算であるため、6月現計としています。